

自然と人、人と人のつながりを結ぶ自然体験型講座  
～世代間交流による知恵の継承と豊かな里山文化の創造を目指して～

The Nature Experience-Based Course with Connecting 'Nature and  
Human' and 'Human and Human'  
～Achieving Inheritance of Wisdom and a Creation of Rich Satoyama Culture by  
Intergenerational Exchange～

グループ名：里山守

三木恵莉香<sup>1)</sup>、吉野遼<sup>1)</sup>、木村彩乃<sup>1)</sup>、齊藤香那<sup>1)</sup>、秋山菜々美<sup>1)</sup>

指導教員 前田幸男<sup>1)</sup>

1) 創価大学 法学部 法律学科 前田ゼミナール

キーワード：環境教育、里山、自然体験、つながり、知恵の継承

## 1. はじめに

近年、気候変動が深刻化し、異常気象による災害が多発していることを受け、社会全体で環境問題への関心が高まっている。その中でも八王子市は、広大で豊かな自然をもつ地域であり、その影響を大きく受けやすい。気候変動の根本的な問題として、自然と人間の分断による自然に対する敬意の喪失があると考えている。そこで私たちは、自然と人間の距離を近づけるために、自然を五感で感じる環境教育に着目した。これは「長期ビジョン(仮称)はちおうじ未来デザイン 2040」につながるものであり、特に3「生き生きと子供が育ち、学びが豊かな心を育むまち」や、6「一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち」という都市像において提案と合致する。環境教育の推進を通して、長期ビジョンにある基本理念の体現化、さらに自然と人が調和するまちづくりを本市で実現することを目指す。

## 2. 八王子市環境教育の現状と課題分析

八王子市は、現在の環境教育を通して、自然を愛する心を持つ人を増やし、八王子市民が環境教育を推進し、教え合う未来を目指している。現在、小中学生を対象にした川の学習や、NPO 法人などが

行っている里山保全など様々なイベントや講座がある。

今回、環境教育に取り組む市、企業、NPO 法人、農業従事者などにヒアリング調査する中で、課題が4点見つかった。(1)事業団体(農家・NPO 法人)の財政難。(2)事業団体、地域の人々と大学生のつながり不足。(3)事業者(環境教育の担い手)の高齢化、人手不足。(4)自然体験プログラムが一過性で終わり、継続性がない。以上の課題により、本市では里山や農地、そしてそこにおいて見られる自然と人間の関わり合いの知恵の、次世代八王子市民への継承が不十分な状況となっている。このことは、本市の歴史的、文化的、自然的遺産の喪失を意味する。次章では、私たちが提案する環境教育講座の推進を通して、以上4点の課題の解決・改善を目指す。

## 3. 提案

私たちは、行政、八王子市の自然環境を扱う団体と大学がタイアップした、学生と市民に向けたフィールドワーク型の講座を提案する。今回、そのモデルケースとして、創価大学で本講座の開講を検討している。本学の講座で、八王子市北部地区で活動するNPO 団体や農家の方々と連携し、自然に触

れながら行うフィールドワークの場を提供したい。同時に、本講座には、親子をはじめとする若い世代の八王子市民が参加できるようにする。

#### 【提案の全体像】

・講座名：八王子自然共生フィールドワーク(仮)  
・定員数：30名（うち15名は大学生、残り15名は市民の方々）

・協力団体：北部地区のNPO団体、地元の農家、市で運営する団体から3団体を募る

※現時点で、NPO法人自然環境アカデミー様が協力予定。

・時期：大学の春期休暇、夏季休暇期間で年に2回行う

・実施内容：協力団体を講師として招待する。受講者を3つのグループに分け、それぞれの協力団体のフィールドワークに参加し、各協力団体が提供する里山保全や農業体験などを行う。受講する大学生に関しては、最後に本講座の学びをまとめたプレゼンテーション大会を開催し、プレゼンを行う予定である。このプレゼンを成績評価とし、本講座で2単位を取得できるようにする。なお、本プレゼンテーション大会に八王子市の職員や協力団体の方々を招き、講評をいただきたい。

講座形式にすることで期待できる効果として、まず環境団体と大学生、そして市民間の継続的な交流の構築が挙げられる。このことは、自然との共生に関する昔からの知恵を持つ地元の人々と若者世代をつなぐことができ、知恵の継承にも寄与する。さらに、人と自然、人と人のつながりが生まれることで、自然の持つ魅力や人の温かさに触れることができ、コミュニティの形成や八王子市への愛着を育むことにもつながると考える。その中で、継続的に環境活動や農業に関わりたいと考える若者が増えれば、人手不足や高齢化の解消による緑地の保全にもつながり得ると予想する。その他に、大学が開講する講座であれば、単位を取得できるというメリットが大学生にあり、諸活動で忙しい大学生も積極的に活動に参加しやすくなると思わ

れる。

以上のように、八王子市・地域の環境団体・大学の連携による新しい環境教育の形である本講座を通して、環境教育に取り組む団体が抱える課題を解決・改善していきたい。

#### 4. 提案の課題

本提案の実施には主に2点の課題があると考えられる。1点目は、フィールドワークを受け入れる協力団体の確保である。現時点での協力団体はNPO法人自然環境アカデミー様であるが、他に協力していただける環境団体を確保することが必要である。2点目は、八王子市・地域の環境団体・大学の連携に向けての調整が必要である。したがって、3者間の話し合いの場を設ける予定である。他にも、本提案を進めていくに当たって直面する課題として、本講座の周知や受講者のニーズの把握や雨天時の講座内容などが考えられる。

#### 5. 市への提案・今後の展望

行政への提案は、以下の点である。1点目は、八王子市民が無料で受講できるように、本講座を環境教育の支援事業として検討していただきたい。2点目は、受講者に里山について学ぶ機会を提供するため、講座の一部に「里山サポーター育成講座」を組み込むことが可能か検討していただきたい。3点目は、環境政策課が管轄しているエコ広場をはじめ、八王子市に本講座の広報・周知である。今後の展望として、本市の大学全てが本講座を開講し、対象地区を拡大していくことで、八王子市全体の規模で環境教育を推進したい。その際に、さらなる本市の活性化を目指すためにも、大学間で学びの成果を共有する発表会や環境教育実践の共有を行いたい。